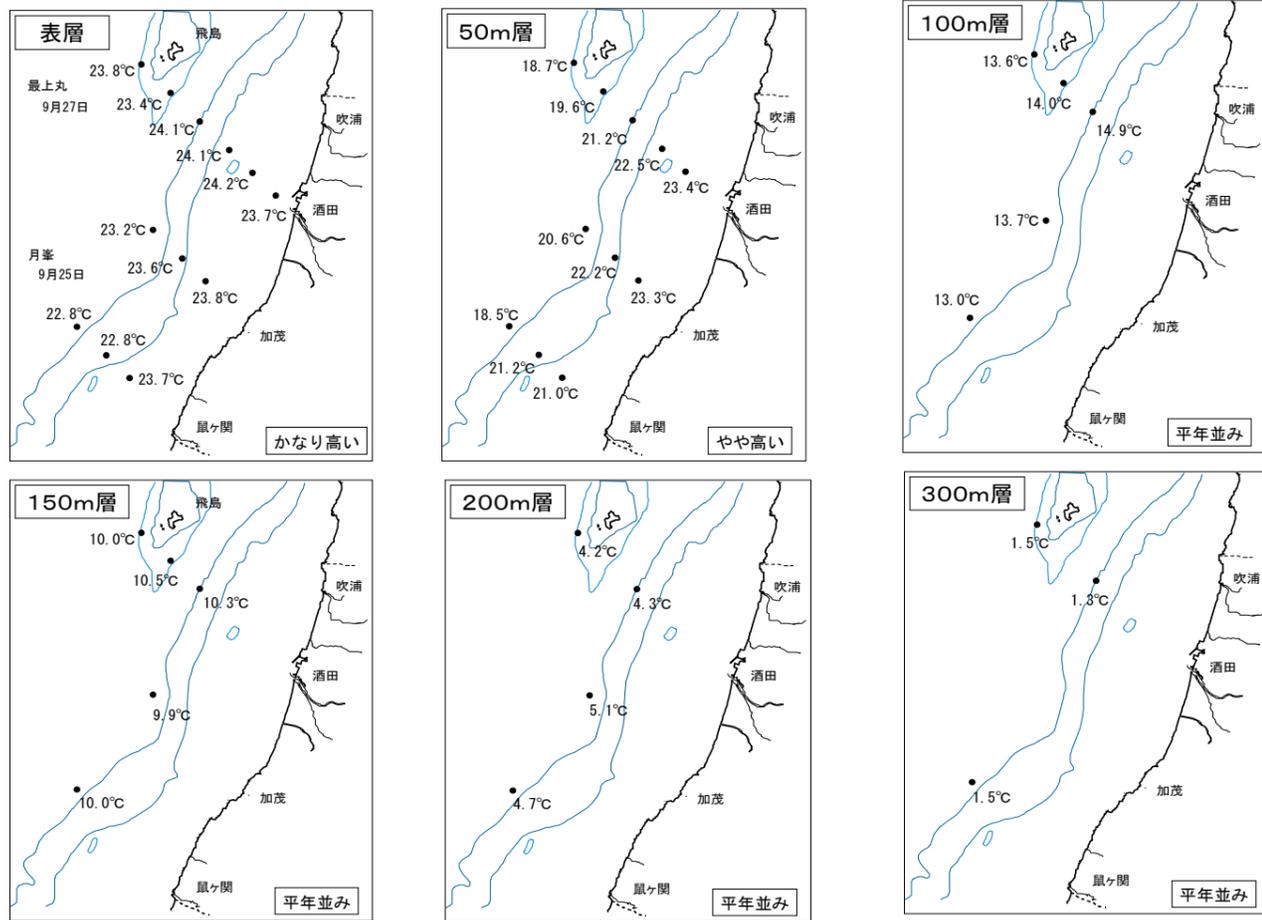


漁海況情報

第544号(平成29年10月13日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産試験場「最上丸」は、それぞれ9月25日と9月27日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層は「かなり高い」、50m層は「やや高い」、それ以外の層は「平年並み」でした。
- ・9月の地先水温は鶴岡市加茂(水産試験場)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「平年並み」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構は、10月6日に「平成29年度 第3回 日本海海況予報」を発表しました。
 ●日本海北部における対馬暖流域の表面水温は「やや高め」、50m深水温は「平年並み」で経過する。



地先平均水温(9月)

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	24.2	-0.8	-0.3	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	24.8	-0.6	-0.1	平年並み

各層別の平均水温(10月観測値)

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	23.6	21.1	13.8	10.1	4.6	1.4
前年差	+1.0	+1.1	-0.6	-0.5	-0.4	-0.1
平年差	+1.4	+1.6	+0.3	+0.7	-0.4	±0.0
評価	かなり高い	やや高い	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(やや低い)	(平年並み)

評価の表現:「平年並み」は約2年に1回、「やや」は約4年に1回、「かなり」は約10年に1回、「はなはだ」は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

1 平成29年度第3回日本海海況予報

(国立研究開発法人水産研究・教育機構 10月6日プレスリリースより作成)

今後の見通し(平成29年10月中旬~12月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は「やや高め」で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海北部及び西部ともに「平年並み」で経過する。



2017年10月中旬~12月の海況

- 隠岐諸島北東の暖水域は南進し隠岐諸島北~東方に分布。
- 能登半島北西の暖水域は東進し能登半島北方に分布。
- 能登半島北方の暖水域は西方から移動してきた能登半島北西の暖水域と合体し勢力を拡大しつつ停滞。
- 新潟沿岸の暖水域は消滅。
- 山形西方の暖水域は北進し津軽半島西方に分布。
- 津軽半島西方の暖水域は津軽海峡から流失。
- 島根沖の冷水域の張り出しは規模・接岸距離ともに平年並み。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは規模は平年並みで接岸距離はやや離岸。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しはかなり小さくやや離岸。
- 入道崎沖の冷水域の張り出しはかなり小さくやや離岸。

2 大型クラゲ出現情報

(一般社団法人 漁業情報サービスセンターより)

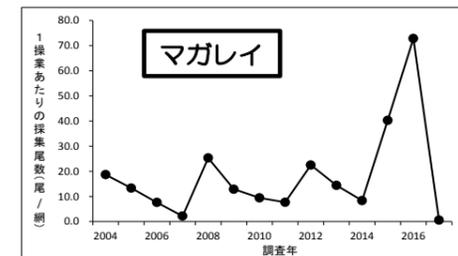
10月6日現在、大型クラゲの出現はほとんどありません。大量出現の可能性は極めて低いと考えられますが、定期的に情報を確認してください。

最上丸による稚魚調査の結果

※平年比は、過去10年平均値と比較した値です

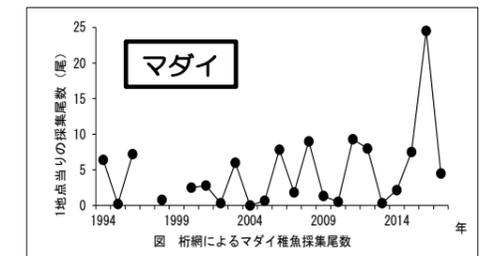
水産試験場では資源評価にかかわる重要魚種の稚魚の量について毎年モニタリング調査を実施しています。

- ・マガレイは2015、2016年の稚魚が多かったのですが、今年度の調査結果では稚魚の量は過去最低となりました。
- ・マダイは2016年の稚魚が多く、今年は前年比18%となりましたが、2000年以降の調査と比較すると少ない量ではありませんでした。



1網あたりのマガレイ0歳魚採捕尾数の推移

前年比 1% 平年比 3%



マダイ稚魚採捕尾数の推移

前年比 18% 平年比 70%

※マガレイの稚魚量から、漁獲量の予測が可能かどうか検討しています。

9月の漁況

- 延べ操業隻数は、1,756隻で平年を下回り、総漁獲量は499トンで平年比95%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は124トンで平年比68%でした。ハタハタは平年を上回り、タイ類、ヒラメ、カレイ類、スケトウダラ、ホッケ、マダラ、アカエビおよびタコ類は下回りました。
- 9月の主要魚種であるカレイ類は、近年漁獲量が減少傾向にあります。
- 定置網漁業の漁獲量は3.5トンで平年比90%でした。アオリイカは平年を上回り、サケおよびアジは下回りました。
- 採貝藻漁業の漁獲量は14トンで、平年比98%でした。サザエは平年並みでした。
- はえなわ漁業の漁獲量は5.3トンで平年比15%でした。メバル類およびアマダイは平年を上回り、タイ類、ブリ類およびサワラは平年を下回りました。
- その他の漁業では、いか釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のタイ類およびかご漁業のバイ貝は平年を上回り、ごち網漁業のタイ類は平年を下回りました。
- 特にいか釣り漁業のスルメイカ(生)は漁期が例年になく長引き、平年の362倍の漁獲量を記録しました。

* 平年比は平成24～28年までの平均値と比較した値です。
 * 平年比85%～115%は「平年並み」、平年比84%以下は「平年を下回る」、平年比116%以上は「平年を上回る」としました。

全漁業支所別漁獲量

単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	83	309	419	83	195	166	85	416	1,756	76%	75%
漁獲量	6,546	19,575	310,816	57,273	25,783	14,647	1,987	62,238	498,865	123%	95%
前年比	67%	122%	220%	110%	78%	63%	11%	55%	123%		
平年比	53%	112%	122%	102%	67%	63%	17%	58%	95%		

底びき網漁業

単位: 隻、kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	22	72	65	24	133	316	81%	70%
タイ類	118	8,882	273	12	1,173	10,458	110%	83%
ヒラメ	452	475	410	66	145	1,548	91%	41%
マガレイ	346	605	1,401	360	411	3,123	48%	30%
マコガレイ	591	1,840	1,518	189	393	4,531	92%	59%
ムシガレイ	841	1,461	1,648	351	1,508	5,809	53%	47%
ヤナギムシガレイ	301	282	464	749	390	2,186	54%	38%
その他のカレイ類	30	79	1,193	564	1,756	3,622	77%	48%
ハタハタ			2,286	676	2,125	5,087	278%	186%
スケトウダラ		8	157	109	338	612	64%	6%
ホッケ		100	8		392	500	488%	4%
マダラ	19	1,032	2,935	948	17,427	22,361	47%	71%
アカエビ		200	8	24	9,330	9,562	81%	75%
タコ類	45	99	580	583	1,704	3,011	90%	74%
その他	2,304	23,350	5,682	2,236	17,665	51,237		
計	5,047	38,413	18,563	6,867	54,757	123,647	77%	68%
前年比	75%	110%	87%	86%	61%	77%		
平年比	56%	92%	65%	63%	61%	68%		

定置網漁業

単位: 隻、kg

支所	吹浦	由良	豊浦	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	4	16	4	24	218%	67%
サケ	4	113	96	213	183%	30%
ブリ類		490	268	758	1984%	99%
アジ		889	3	892	45%	84%
アオリイカ		273	47	319	743%	117%
その他	27	1,178	157	1,362		
計	31	2,942	571	3,544	124%	90%
前年比	54%	106%	3646%	124%		
平年比	12%	105%	79%	90%		

採貝藻漁業

単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	9	209	8	21	51	59	39	140	536	77%	93%
サザエ		4,548	190	362	2,271	1,118	1,010	4,016	13,516	60%	105%
その他	188	24	11		159	38	29	49	497		
計	188	4,572	201	362	2,430	1,156	1,039	4,065	14,012	61%	98%
前年比	79%	45%	36%	79%	101%	104%	37%	77%	61%		
平年比	43%	76%	38%	115%	141%	131%	78%	128%	98%		

はえなわ漁業

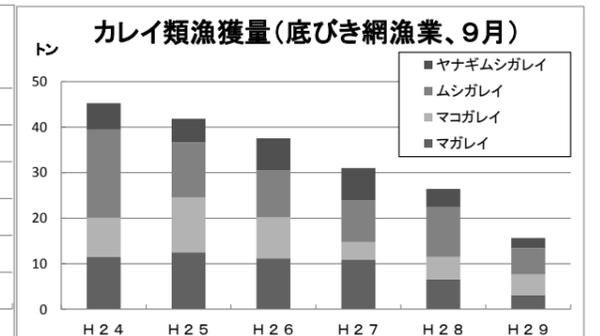
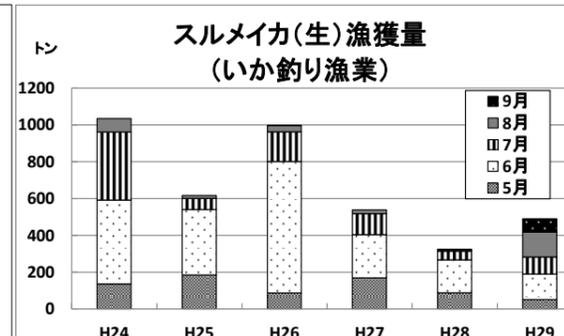
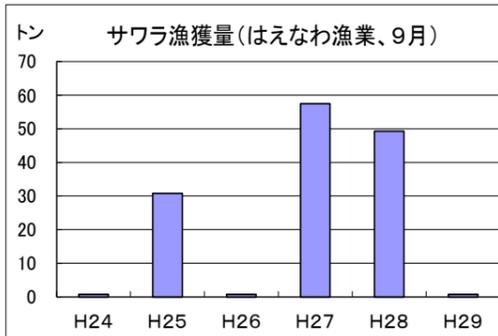
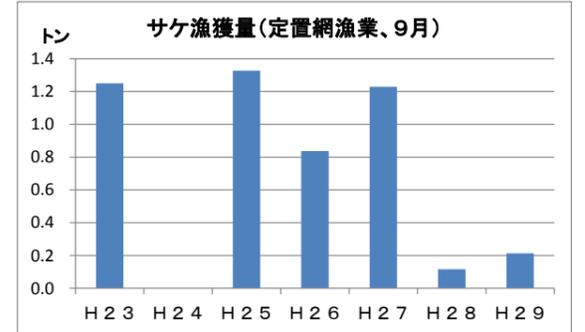
単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	8	4	16	12	24	40	63	175	31%	42%
タイ類	24		221	80	109	297	1,003	1,782	135%	66%
ブリ類				3	20	26	58	125	39%	17%
サワラ	23		25	63	148	118	360	753	2%	3%
メバル類		685	24	7	3	10	29	761	160%	424%
アマダイ	6		2	47	115	130	204	504		124%
その他	83	240	178	57	127	281	314	1,361		
計	136	925	450	256	521	862	1,967	5,287	10%	15%
前年比	10%	70%	13%	5%	5%	6%	12%	10%		
平年比	11%	78%	33%	12%	11%	9%	15%	15%		

その他の漁業

単位: 隻、kg

漁業種類	いか釣り漁業	船凍いか釣り漁業	さし網漁業	あまだいさし網漁業	ごち網漁業	かご漁業
延べ操業隻数	135	3	175	49	44	73
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	タイ類	アマダイ	タイ類	バイ貝
漁獲量(kg)	71,710	204,792	273	1,927	8,002	3,775
前年比	10393%	220%	629%	180%	120%	146%
平年比	36217%	102%	268%	108%	62%	158%



最上丸の調査予定(10月中旬～11月上旬)

- ・ マグロはえなわ試験を行います。
- ・ 海洋観測を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力
 よろしくお願ひします。

